

高校時代しか知らない代表幹事の仲間は、卒業後三十余年の時を経て様々なスキルを身に付けていました。Zoomについても、専門家に頼んだ方が良かったのでは？という心配をもとめせず、幹事長の前田丈典君が果敢にも一手に引き受けてくれて、本番では一度も途切れることなくスムーズな配信を行うことができました。その他の準備作業においても、身に付けたスキルだけでなく、人脈、隠れた才能を過不足なく、しかも無理なく自然に発揮してくれる素晴らしいチームに恵まれ、楽しみながら取り組むことができました。

「5歳の挑戦」と「校歌斉唱」映像

当初は、単に懐かしい飯田の風景だけを撮影する予定だったのですが、そんなときに、元ラグビー班の中山君が「下山走り」を口にしたことから、それを再現してみようという企画が生まれました。飯田高校から下山村駅までを走る企画です。「走ってもらえば箱根駅伝経験者の茂手木君じゃないよね！」と人選はすぐに決定。そして、飯田在住の同級生からも撮影協力隊員を募り、撮影当日小雨の降る中で、5名の有志と共に撮影を決行しました。しかも、下山走りの後、疲労感の漂う中で飯沼階段駆け上がりも追加。この素

人集団が撮影した何の変哲も無い映像を、長沼君が感動的な映像に仕上げてくれました。編集の力はすごい！

それからオンラインイベントでも外せないのは、同窓会総会の最後に必ず行われる元応援団によるエールと校歌斉唱。高35回生の我々が応援団長松本君の出番ですが、残念ながら当日は歯科医院の仕事のため参加できないとのこと、前もってエールを振る映像を撮影させてもらうことにしました。撮影当日、用意されていた模造紙を見て、映像のプロ長沼君曰く、「これグリーンバックのつもり？」と苦笑い。でも、その水色の模造紙のおかげで、青空に映える赤石岳の山並みを背景に素晴らしいエール映像が完成。また、同級生から提供してもらった美しい飯田の風景を背景に、手前味噌ながら秀逸な校歌斉唱のエンディング映像を完成することができました。

いよいよ本番当日

何度かのリハーサルを重ねて、本番当日を迎えました。代表幹事一同、準備万端。スタジオとなる会場にマスク姿で集合し、アルコール消毒。飯田スタジオには2人の講師のほか、講師の補佐を単身赴任中の同級生に依頼。全般司会は直前になってお願いした野見和子

オンラインイベント写真

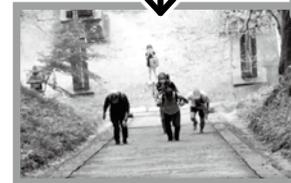


下山走り再現!!



校門をスタート

リアルで集まれないときは Zoom 会議で



37年ぶりに、309段の飯沼神社の階段ダッシュに挑戦。しかし……駆け上がるにはもはや体力が……

55歳のチャレンジ



北電通学生 & 運動班員のお約束。「電車を先回りして直線距離2kmを走り抜くぞ！オー!!!」



55歳の下山走り、成功です。お疲れ様でした！

締めは校歌斉唱



冠雪の南アルプスをバックに応援団長松本聖樹氏



迫真のメイキングショット (実はバックは模造紙)

お疲れ様!

35 回生代表幹事の面々



さん、講演会のとりまとめ、進行は池田早苗さん、録画とチャットメッセージ作成は小倉浩明君がリモートで担当。私は全般統制・プロデューサー役として、開始直前にマイクの設定ミスがあつて焦りましたが、なんとか無事に終えることができました。副幹事長となつて、それなりの苦労もありましたが、古くて新しい仲間と青春を取り戻したかのような楽しい思い出をつくることができました。



●おおいのりこ

上郷出身。上智大学法学部卒業後、最高裁判所刑事局勤務。その後司法試験合格、1997年から弁護士として虎ノ門総合法律事務所所属。チェロ歴10年。好きなこと、車の運転。7年間の走行距離18万キロ。